

平成21年3月期(第12期) 本決算説明会

平成21年5月18日

株式会社Jストリーム

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。



連結決算ハイライト P/L

	21年3月期			増減率	20年3月期	
売上高	4,639,418	100%		+7.1%	4,333,053	100%
売上原価	2,690,022	58.0%		+9.7%	2,451,577	56.6%
売上総利益	1,949,395	42.0%		+3.6%	1,881,475	43.4%
販売費及び一般管理費	1,781,616	38.4%		+20.1%	1,483,565	34.2%
営業利益	167,779	3.6%	営業外損益 受取利息 16,882 為替差益 4,796 連結調整勘定償却額 13,572 雑収入 4,944 業務受託手数料 5,366 持分法投資損失 △5,485 雑損失 △9,947	△57.8%	397,909	9.2%
経常利益	197,146	4.2%		△50.9%	401,492	9.3%
税金等調整前当期純利益	89,065	1.9%	特別損益 (p.3)	△75.6%	365,193	8.4%
当期純利益	5,287	0.1%	(-) 法人税等 92,958 法人税等調整額 △1,431 少数株主損益 △7,748	△97.3%	194,854	4.5%

▶ 前期対比売上高7%増となるが、固定費の増加が上回り減益。

(単位:百万円)

	21年3月期実績	2月予想数値	差異
売上高	4,639	4,565	+74
営業利益	167	150	+17
経常利益	197	190	+7
当期純利益	5	95	△90

【特別損失】

投資有価証券評価損 71百万円 (出資先関連)

減損損失 24百万円 (コンテンツ自動生成アプリに関する権利)

貸倒引当金繰り入れ 20百万円 (子会社取引先関連)

その他 8百万円

計 125百万円

▶ 2月3日業績見込修正実施以降判明の事由により特別損失計上

連結バランスシート

		21年3月期末	主な変動要因	20年3月期末
資産の部	流動資産	2,645,094	▶ 預け金△400百万円 (出資、子会社買収等)	3,040,312
	固定資産	1,361,710		1,103,682
	有形固定資産	198,929	▶ ソフトウェア+150百万円 モバイルサービス系の増加 が中心	216,890
	無形固定資産	538,594		438,690
	投資その他の資産	624,187	▶ 投資有価証券 +140百万円	448,101
資産合計		4,006,805		4,143,995
負債の部	流動負債	484,670	▶ 未払法人税等△111百万円 未払金 △151百万円	712,557
	固定負債	127,721		—
純資産の部	株主資本	資本金	▶ 負ののれん:118百万円 (子会社買収により発生)	2,182,379
		資本剰余金		1,430,642
		利益剰余金		△243,770
	少数株主持分	25,160		67,473
	純資産合計	3,394,412		3,431,437
負債・純資産合計		4,006,805		4,143,995

▶ 会社買収による科目間の移動が中心

連結売上原価 構成比率

(※21年3月期構成比率順 単位:千円)

	21年3月期		増減率	備考	20年3月期	
労務費	731,013	27.2%	+38.6%	人的費用の合計 1,674百万円 (前年度: 1,564百万円 対比+7.0%)	527,386	21.5%
外注費	700,914	26.1%	△18.1%		856,313	34.9%
通信費	370,632	13.8%	+10.6%		335,220	13.7%
ロイヤリティ	305,626	11.4%	+8.6%		281,343	11.5%
業務委託手数料	242,232	9.0%	+34.0%		180,822	7.4%
保守料	91,596	3.4%	+28.0%		71,583	2.9%
減価償却費	86,443	3.2%	+33.3%		64,833	2.6%
ソフトウェア償却	83,252	3.1%	+21.3%		68,623	2.8%
賃借料	72,036	2.7%	△4.1%		75,119	3.1%
地代家賃	54,260	2.0%	+2.1%		53,139	2.2%
その他及び 他勘定振替	△47,982	△1.8%	—	△62,804	△2.6%	
売上原価合計	2,690,022		+9.7%		2,451,577	前年度対比 +16.9%

制作の不振を受け外注の内製シフト、効率化を図り、人的費用の増加は全体の原価増を下回る比率とはなかったが、依然固定費に占める比率は高い。業務委託の増加はモバイルの大型案件が主要因で短期的なもの。

販売費及び一般管理費主要項目（連結）

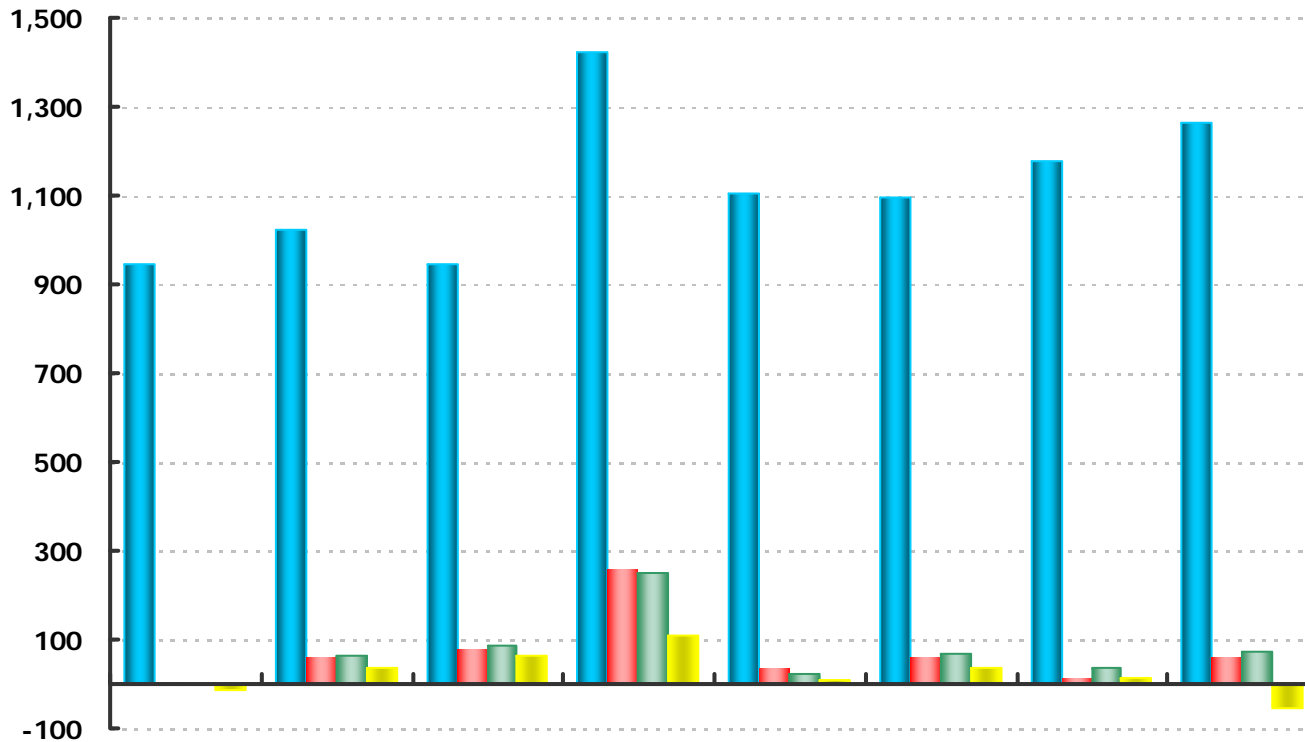
（※21年3月期構成比率順 単位：千円）

	21年3月期		増減率	備考	20年3月期	
人件費	898,360	50.4%	+18.0%		761,268	51.3%
販売支援費	103,809	5.8%	+86.9%		55,533	3.7%
地代家賃	91,671	5.1%	+31.0%		69,956	4.7%
研究開発費	86,134	4.8%	+88.1%		45,791	3.1%
販売促進費・広告宣伝費	82,422	4.6%	△40.4%		138,349	9.3%
支払手数料	81,488	4.6%	+104.6%		39,838	2.7%
業務委託手数料	54,055	3.0%	△8.6%		59,165	4.0%
営業権償却	47,752	2.7%	+543.1%		7,425	0.5%
株式関係費	45,256	2.5%	+71.7%	子会社関連が中心	26,364	1.8%
システム管理費	37,669	2.1%	+20.7%		31,206	2.1%
求人費	33,895	1.9%	+5.3%		32,178	2.2%
その他 (雑費、旅費交通費、賃借料等)	219,105	12.3%	—		247,698	16.7%
販売費及び一般管理費 合計	1,781,616		+20.1%		1,483,565	前年度対比 +22.2%

- ◆ 支払手数料の増加は、子会社買収にかかる費用、監査費用の増加など
- ◆ 販促費／広告宣伝費は、抑制＋前年度の反動減(サイトリニューアル実施)

(単位:百万円)

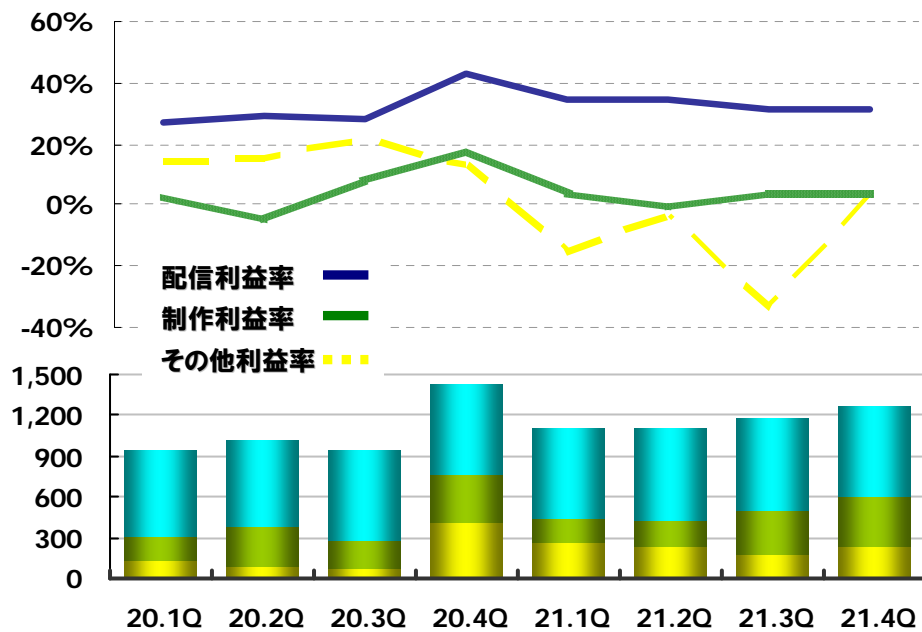
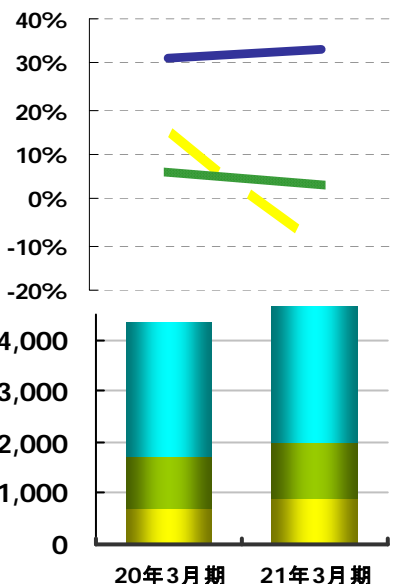
四半期別利益推移 (連結)



◆ 固定費の増加に加え、大型の案件受注の不振、オンデマンド売上の伸び悩み等の要因から利益率が低下。

	20.1Q	20.2Q	20.3Q	20.4Q	21.1Q	21.2Q	21.3Q	21.4Q
売上高	944	1,021	946	1,421	1,104	1,096	1,177	1,261
営業利益	5	57	78	258	34	60	12	60
経常利益	△0	65	89	249	24	66	35	70
経常利益率	△0.0%	6.3%	9.3%	17.5%	2.2%	6.0%	3.0%	5.6%
純利益	△15	36	66	108	9	38	11	△54

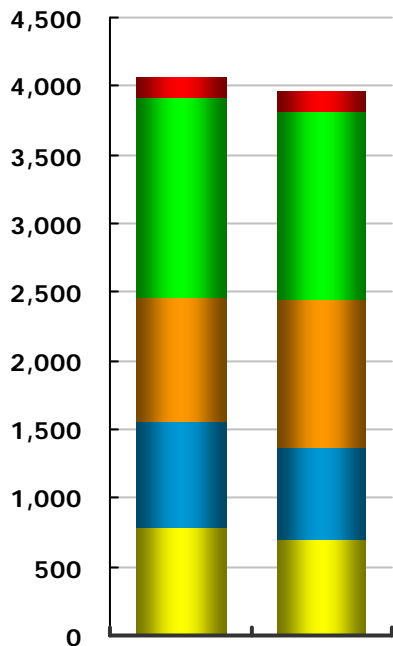
連結セグメント売上／営業利益状況



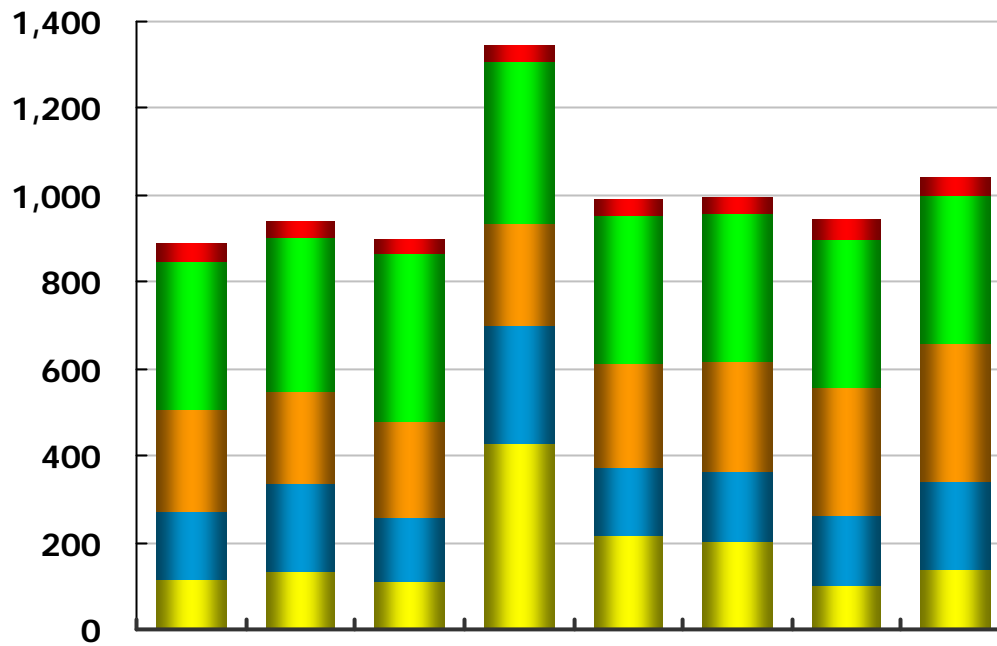
◆制作、開発領域での原価増加(モバイル案件大型関連)がセグメント別の利益率の大きな変化に影響。

	20年3月期	21年3月期	増減率		20.1Q	20.2Q	20.3Q	20.4Q	21.1Q	21.2Q	21.3Q	21.4Q	4Q増減率
売上高	2,606	2,658	+2.0%	配信	636	640	670	659	659	669	673	655	Δ0.6%
利益	826	875	+5.9%		169	186	184	286	230	231	210	204	Δ28.7%
利益率	31.7%	33.0%			26.6%	29.1%	27.6%	43.4%	34.9%	34.6%	31.2%	31.2%	
売上高	1,022	1,069	+4.6%	制作	182	293	202	344	183	186	323	374	+8.7%
利益	65	31	Δ51.7%		3	-15	15	61	6	-1	11	14	Δ77.0%
利益率	6.4%	3.0%			2.0%	Δ5.2%	7.8%	17.9%	3.7%	Δ0.8%	3.7%	3.9%	
売上高	704	912	+29.5%	その他	125	87	73	417	261	239	179	231	Δ44.6%
利益	101	Δ105	-		18	13	16	53	-41	-9	-60	5	Δ90.6%
利益率	14.4%	Δ11.5%			14.7%	15.5%	22.0%	12.8%	Δ15.7%	Δ0.1%	Δ33.5%	2.5%	
	4,333	4,639		合計	944	1,021	946	1,421	1,104	1,096	1,177	1,261	

(参考情報)商品別売上推移(個別)



20年3月期 21年3月期 増減率



20.1Q 20.2Q 20.3Q 20.4Q 21.1Q 21.2Q 21.3Q 21.4Q 4Q 増減率

◆ オンデマンドは安定しているものの積み増しが出来ていない状況。

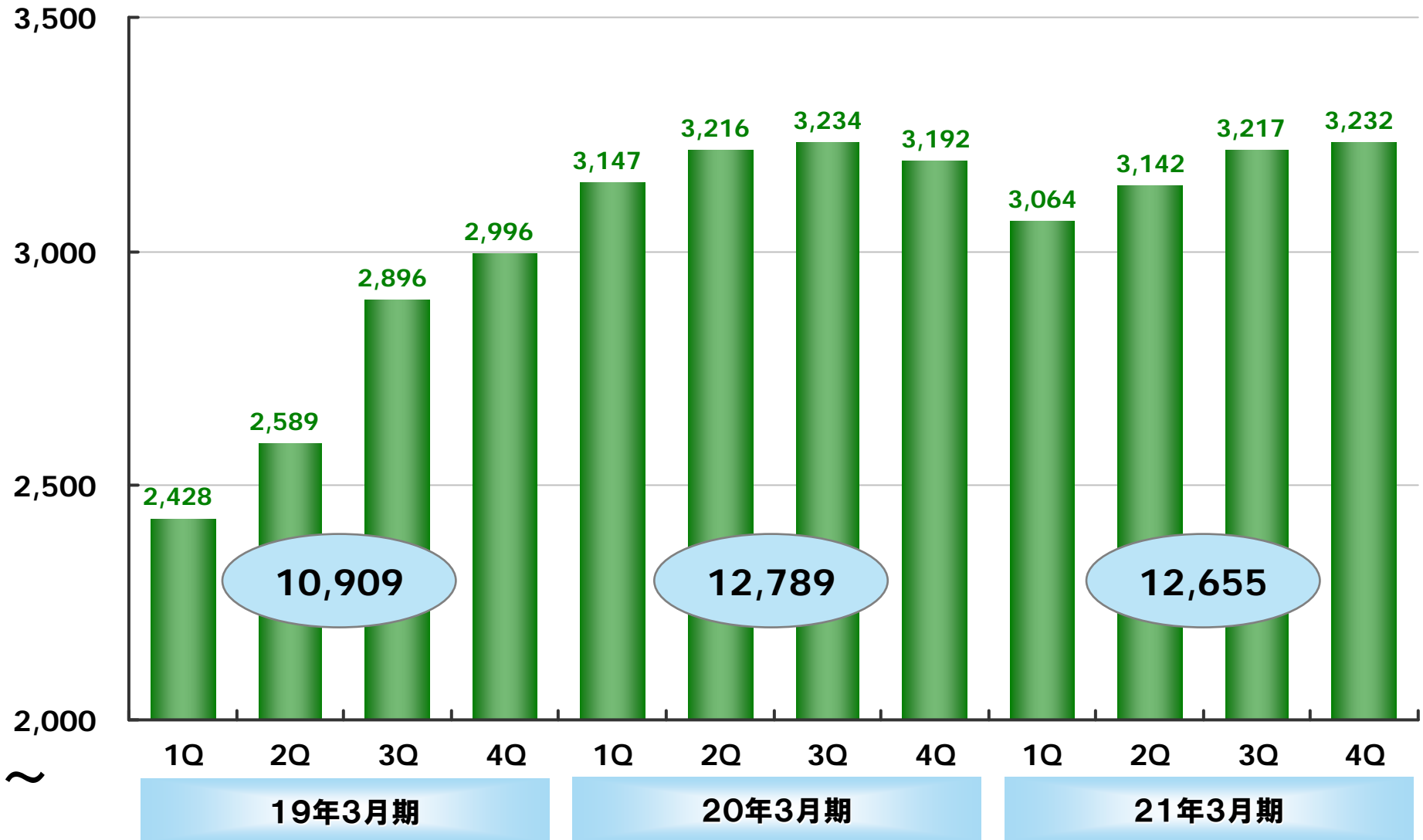
◆ モバイル関連は、大型案件に営業、開発力を割いている一方で増加傾向を堅持しており引き続き好調。

◆ PC向けの制作を伴う案件の受注不振オンデマンド／制作の不振に表れている。

	20年3月期	21年3月期	増減率
ライブ	144	153	+6.3%
オンデマンド	1,456	1,373	△5.7%
モバイル	899	1,072	+19.2%
制作	773	677	△12.4%
その他	789	693	△12.2%
合計	4,070	3,970	△2.5%

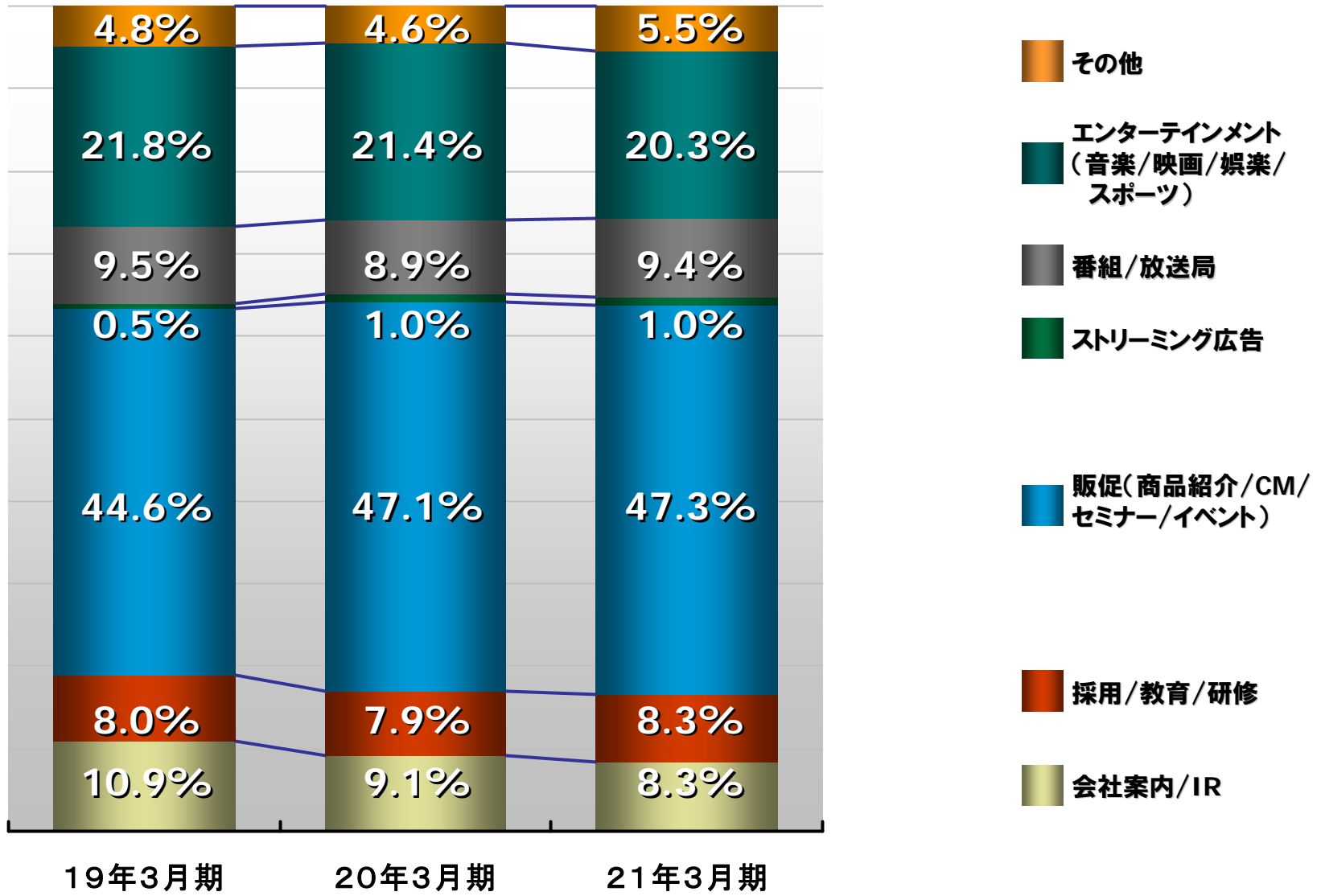
	20.1Q	20.2Q	20.3Q	20.4Q	21.1Q	21.2Q	21.3Q	21.4Q	4Q	増減率
ライブ	41	36	31	36	36	33	42	41	13.9%	
オンデマンド	343	355	385	373	342	344	344	342	△8.3%	
モバイル	233	210	221	235	240	252	263	315	34.0%	
制作	156	202	148	267	154	160	160	201	△24.7%	
その他	116	134	110	429	217	203	133	139	△67.6%	
合計	891	939	897	1,343	990	992	942	1,038	△22.7%	

(参考情報)取引案件数動向(個別)

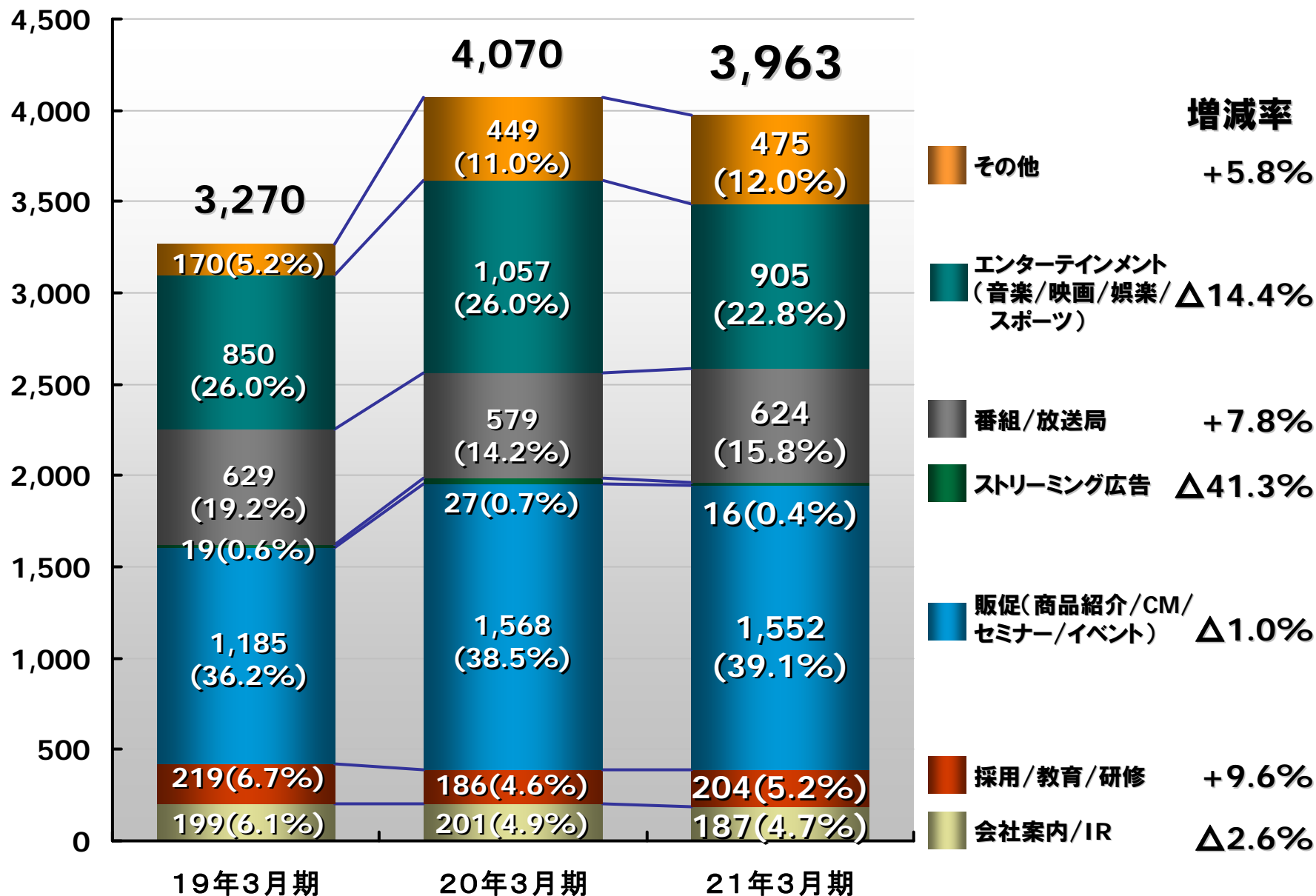


▶ 単価は下落傾向にあるものの件数は回復してきている。新規顧客獲得に苦戦。

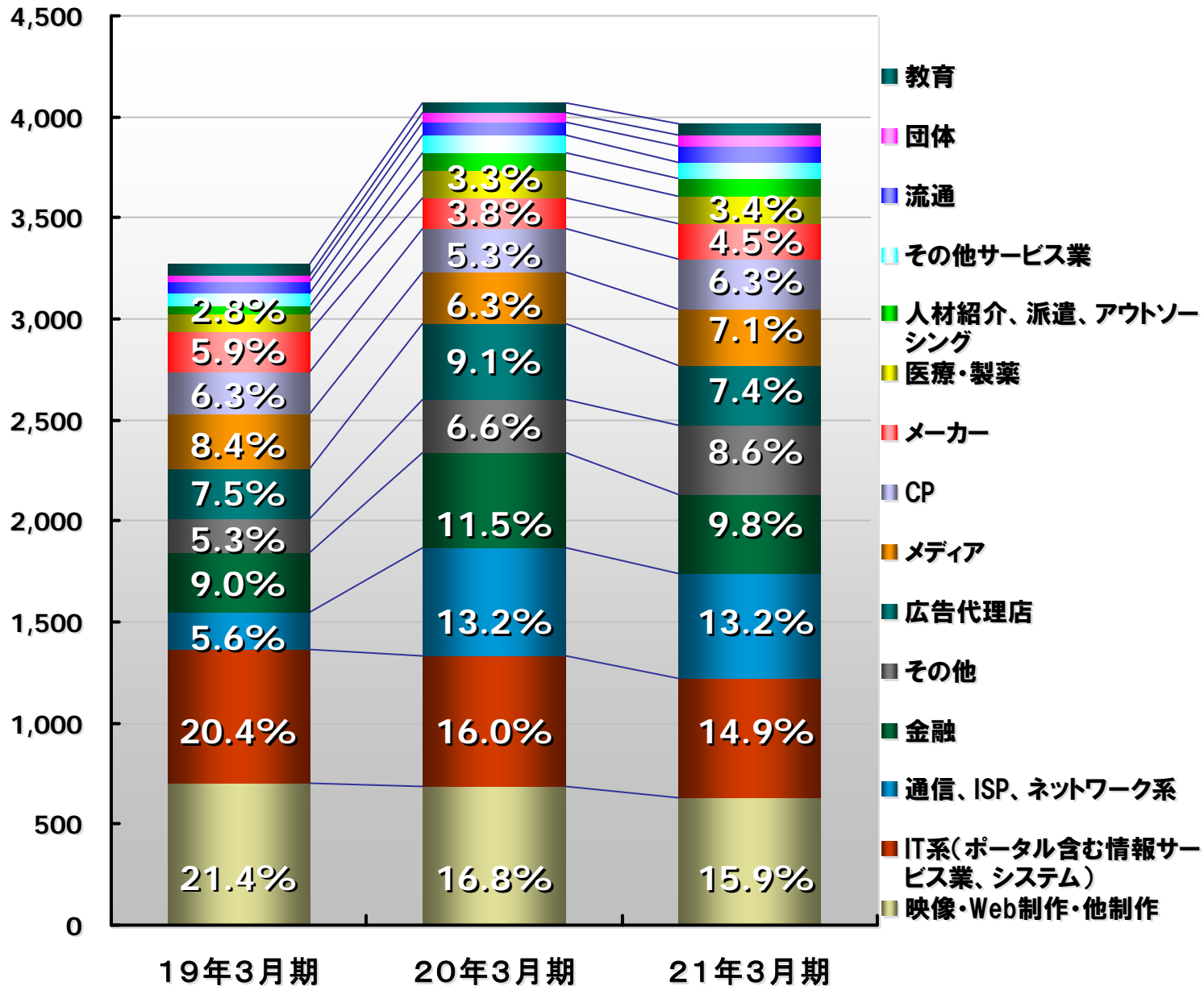
用途別件数比率(個別)



用途別売上比率(個別)



業種別売上比率(個別)



21年3月期のトピックス

トピックス① Brightcove配信プラットフォーム

◆日本法人設立(JV)に参加(5月発表)

Brightcove. Inc (米国法人)

電通

サイバーコミュニケーションズ(CCI)

株式会社Jストリーム

トランス・コスモス



米国、欧州におけるインターネット動画配信プラットフォーム提供サービス市場において、最大のマーケットシェアを有する Brightcove Platform サービスと、Jストリームの動画事業におけるノウハウ、及び、配信プラットフォームを掛け合わせて、日本市場で展開。

動画をビジネスに活用するにあたり、必要な機能を全て有しており、初期開発投資コストと期間をかけずに容易に本格的な動画事業をスタートすることが可能

メディア & コンテンツプロバイダー

既存の動画コンテンツ資産や動画制作能力を活かし、自社ブランド・サイトを中心とした動画配信事業を立ち上げ、広告/課金モデルと連動した新規ビジネス開発を行いたい。

一般企業

自社ブランド・サイトを中心とした動画配信サービスを用い、ユーザーからの注目度や満足度の高い、商品プロモーション、ユーザー・サービスを行いたい。

共通のプラットフォームで、

◆メディア・コンテンツプロバイダーによる
コンテンツ配信サイト

◆一般企業による自社ブランドサイトの構成
双方をカバー

トピックス②

『民放TV北京オリンピック公式動画 gorin.jp』の各種映像配信インフラを受託

『民放TV北京オリンピック公式動画 gorin.jp (ゴリンドットジェイピー)』は民放テレビ132社共同による日本初のオリンピック映像ネット配信。

当社はプレゼントキャスト(テレビドガッチ!)を運営中)から受託

- ◆ PC向け配信: 負荷分散サービス
- ◆ 携帯電話向け動画配信: 「MobaVio (モバビオ)」
(各種携帯端末に応じた動画の自動変換・配信)
- ◆ 配信サイトの構築:
ブライトコーブ プラットフォームを利用

アクトビラ公式サイトからのコンテンツ提供サポートを開始

各社がコンテンツを提供する「アクトビラ公式サイト」のサイト枠を企業向けに代理販売。各種サイト制作や動画配信を含むウェブサイトの制作サービス全般を提供。

TVや雑誌などのクロスメディア展開に加えて、ネット×ネットによる連動を含めた“クロスデバイス”展開をサポートする

株式会社アッカ・ネットワークスの映像コミュニケーション事業(企業向けにコンテンツ配信のプラットフォームを提供する事業)を譲受

トピックス③／当期ここまでの動き

株式会社アップアローズを子会社化 ～ モバイル制作能力強化 ～

モバイルサービスの企画から
開発・保守・運用までをワンストップで

インデックスネクスト社を買収、株式会社アップアローズとしてグループの一員とした

コンサルティング(サービス設計及びサイト設計)からユーザーインターフェースのデザイン、システム開発、運用まで事業として展開。特に携帯電話向けウェブサイトの構築・開発、携帯電話向けコンテンツの制作がメイン事業。中国・廈門の子会社はJストリームは連結対象としていない。

クロスコ株式会社を子会社化

持分法関連会社であったクロスコ社の株式を追加取得、子会社とした。マーケティング活動案件や映像制作案件などにおいて今後の連携を高める。

資本準備金を取り崩し、繰越利益剰余金を欠損補填

(6月株主総会にて決議予定)

- ・今後の資本政策の柔軟性と機動性を確保すること
- ・早期の配当体制の実現を目指すことを目的とする

22年3月期 事業方針

事業拡大に向け、新規顧客の獲得 体制構築と商品開発を促進

- ◆ 新規顧客開拓の推進。取引顧客数の増加。
- ◆ WebCDN含め、ネットワーク配信商品の強化
- ◆ 配信周辺ASP商品の開発人員確保により、
商品開発をスピードアップ【表現系でも当社ならではの「伝え方」を開発、提供する】
- ◆ 高度化する案件への対応力向上
- ◆ モバイル配信商品の売上促進

セグメント戦略

配信 セグメント

- ◆ 新規顧客獲得に専任する部隊を設置
- ◆ 競合対策も含め、価格戦略の実践により大型配信案件を取り込む
- ◆ 拡大するWebCDN市場に対応した商品力の向上により拡販
- ◆ メディア企業、CP事業者、有名一般企業に向け「Brightcove」の拡販
- ◆ Jフラットの営業販売も含め、ASPサービスにより取引顧客数の拡大

制作 セグメント

- ◆ Web・映像・プロダクトの3機能を社内に有する強みを活かし、競合と差別化された提案を実践。受注率の向上を狙う。
- ◆ 増加するシステム絡みの案件を推進するSE部隊の設置
- ◆ 企画担当を中心として、ネタの掘り起こしを継続。提案件数を向上させる
- ◆ バンドワゴン、BASIS PLANET、アップアローズ、クロスコと連携した提案力の向上と、グループ制作連携

投資実績／予定

	投資項目	予定総額
22年 3月期 計画	■ ネットワーク機器／キャッシュサーバ／サーバ 増設、 IPv6対応ハードなど 79	259
	■ 暗号化など対応 4	
	■ DRM等対応 9	
	■ ASPサービスなどむけソフトウェア開発関連 167	

	投資項目	総額
21年 3月期 実績	■ ネットワーク機器／サーバ増設、ログ管理強化など 35	232
	■ HDなど高品質化対応 1	
	■ モバイル配信サービス強化 71	
	■ その他新規事業系 99	
	■ 業務支援システム強化 ■ メールサーバー増強 ■ J-SOX対応体制 ■ オフィス拡張に伴う投資 25	

▶ 前期(373を予定)対比、計画段階から絞り込み。
 新商品開発に注力する体制。

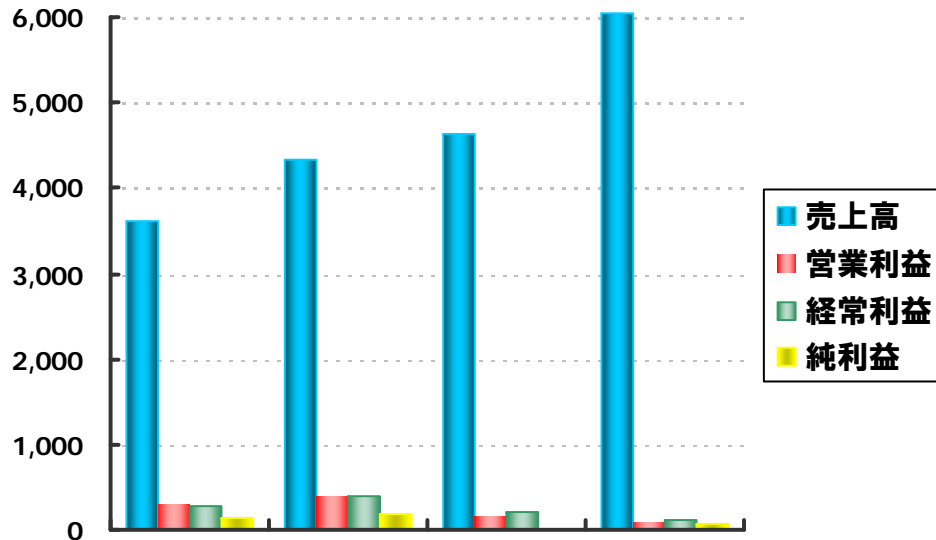
22年3月期 業績予想

(単位:百万円)

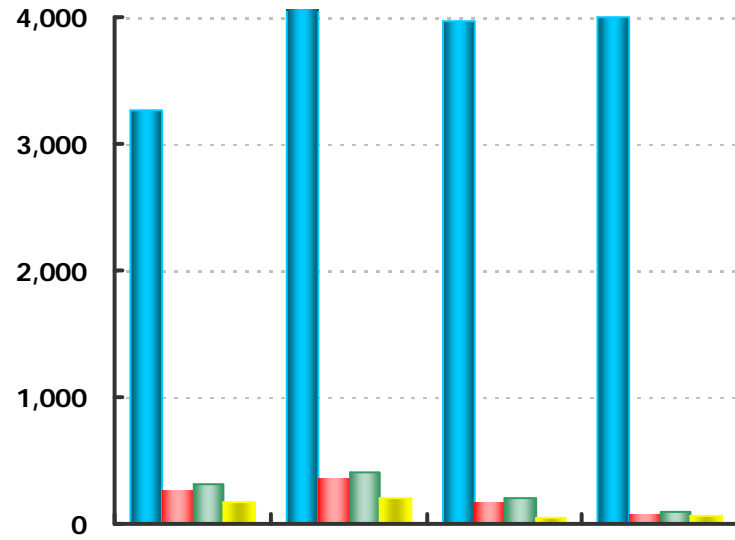
	通期		上半期	
	連結	個別	連結	個別
売上高	6,050 12期実績比 +30.4%	4,000 12期実績比 +0.8%	2,880 12期実績比 +30.9%	1,925 12期実績比 Δ3.0%
営業利益	90 12期実績比 Δ46.4%	85 12期実績比 Δ50.3%	10 12期実績比 Δ89.5%	25 12期実績比 Δ76.4%
経常利益	125 12期実績比 Δ36.5%	100 12期実績比 Δ51.9%	20 12期実績比 Δ78.0%	30 12期実績比 +Δ76.7%
当期純利益	70 12期実績比 +1650.0%	55 12期実績比 +34.1%	6 12期実績比 Δ87.2%	18 12期実績比 Δ78.6%

予想／実績比較

連結



個別



	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期 (予想)	増減率
売上高	3,612	4,333	4,639	6,050	30.4%
営業利益	300	397	167	90	△46.1%
経常利益	280	401	197	125	△36.5%
純利益	131	194	5	70	—

	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期 (予想)	増減率
売上高	3,271	4,070	3,970	4,000	0.8%
営業利益	269	366	171	85	△50.3%
経常利益	310	403	208	100	△51.9%
純利益	169	201	42	55	31.0%

▶ Jストリーム単体では前年並みの予想

質疑・応答

ありがとうございました